



「暑いけれども、無理をせずに頑張ります。」

患者さんの権利

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利 | 5 常に人としての尊厳を守られる権利 |
| 2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利 |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利 | 7 継続して一貫した医療を受ける権利 |
| 4 プライバシーが守られる権利 | 8 生活の質 (QOL) や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

CONTENTS

- ② 重粒子線がん治療財団と医療機能連携協定を締結する
- ④ DMAT研修に参加して
- ⑤ 「心のきずな学講座」地域との交流シリーズ①
- ⑥ 看護師就職説明会に参加して
- ⑧ Artis zee TA (SIEMENS) 紹介

- ⑨ 超音波診断装置の導入について
- ⑩ 栄養管理室からのお知らせ
- ⑪ 初めての見学実習を終えて
- ⑫ 外来診療担当医表
- ⑯ 編集後記

重粒子線がん治療財団と 医療機能連携協定を締結する

平成24年5月10日(木)、当院と公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団は、患者の紹介や人事交流などで相互が緊密な医療連携を行うことを目的として医療機能連携協定を締結しました。

同財団は、重粒子線によるがん治療を通じて、安心、安全な医療を提供し、佐賀県内はもとより、国内外における医療・福祉の向上とがん治療の進歩・発展を図り、「がん撲滅」に寄与することを目的として創設された公益財団法人です。産学官の共同プロジェクトで事業が進められ、九州では初めて、民間主体としては日本初となる重粒子線がん治療施設「九州国際重粒子線がん治療センター（サガハイマット）」を佐賀県鳥栖市の九州新幹線新鳥栖駅前に来年春のオープンを目指し建設中です。

重粒子線がん治療とは、放射線治療法の一つです。従来の放射線治療で使用されるエックス線やガンマ線は、がん病巣に対して体外から照射すると体の表面

近くで放射線量が最大となり、それ以降は次第に減少していく、体の深いところにあるがん病巣に十分なダメージを与えることができません。また、がん病巣以外の正常細胞にもダメージを与えてしまいます。

一方、重粒子線及び陽子線は、体の表面では放射線量が弱く、がん病巣において放射線量がピークになる特性（プラグ・ピーク）を有しています。このため、がん病巣をピンポイントで狙い撃ちすることができ、がん病巣にダメージを十分与えながら、正常細胞へのダメージを最小限に抑えることが可能です。

特に重粒子線は、陽子線よりもさらに線量集中性が優れ、がん細胞に対する殺傷効果が2～3倍大きいとされているため、照射回数をさらに少なく、治療期間をより短くすることが可能になります。

対象の患者さんとしては、

- ・他医療機関からの紹介で、主治医によるがんの確定診断がついている患者さん



・主治医から重粒子線治療が適していると判断され、重粒子線治療による治癒回復が見込める患者さん

・がんであることを認知しており、重粒子線治療を受けることに同意している患者さん

としています。また、対象部位としては以下の部位が主な対象で、

脳腫瘍、頭蓋底腫瘍、眼腫瘍（悪性黒色腫を除く）、頭頸部がん、食道がん、肺がん、肝臓がん、脾臓がん、子宮中枢神経腫瘍がん、直腸がん術後再発、前立腺がん、骨肉腫、軟部組織腫瘍となっています。重粒子線治療の対象となるがんとしては、ひとつの部位に留まっている固形のがんが対象となります。しかし、

- ・白血病などの血液のがん
- ・広範な転移があるがん
- ・過去に放射線治療を受けているがん
- ・胃がん、大腸がんなど不規則に動く臓器のがん

などは治療の対象にはできないとされています。

協定は、当院の古賀満明院長と同財団の工藤 祥センター長との間で交わされ、①患者さんの紹介・受け入れ ②人事交流を通じた人材育成と医療技術の向上 ③症例検討会や講演会での共同研究 ④医療情報のIT・共有化推進 の4項目の分野で双方が協力していくことを確認しました。

来年春の同センターの稼働に伴い、がん患者さんの検査・診断については基本的に当院が行い、重粒子線治療を選択される患者さんを同センターに紹介

します。センターには入院施設が無いために、日帰りで重粒子線の治療照射を受けた患者さんは当院に帰って来ていただき、治療終了後の経過観察を行っていきます。定期的な診断や検査も基本的に当院で行っていくことになります。

当院は、平成19年1月から佐賀県の「がん診療連携拠点病院」に指定されており、佐賀県におけるがん診療に重要な役割を担う一方、佐賀県と長崎県の県境にあり、長崎県から多くの患者さんが受診されていますので、県内のみならず県外の患者さんにも最先端のがん治療法を紹介できることは非常に意義があるものと思われます。院内でも重粒子線がん治療に対する見識を深め、がんに苦しむ患者さんの治療の可能性を少しでも広げられるように貢献していきたいと思っています。





DMAT研修に参加して

西 2 病棟副看護師長 池田 啓之

6月11日から14日の4日間、東京都の立川市にある国立病院機構災害医療センターで行われた災害派遣医療チーム(DMAT)の研修に私と岡忠之統括診療部長、加納知子副看護師長、一ノ瀬真由美専門職、村田健司薬剤師の5名で参加させていただきました。

はじめにDMATとは、災害の急性期に活動できるようにトレーニングを受けた医療チームのことであり、医師1名、看護師2名、調整員2名の計5名で構成されます。

1995年に起きた阪神・淡路大震災を契機に、震災直後の「防ぎ得た死」を減らそうという意図でDMATが発足しました。昨年3月におこった東日本大震災では、3月11～22日までの間に、47都道府県から約340チームが岩手県、宮城県、福島県、茨城県に派遣され、活動が行われてあります。また、今後M6.7～7.2の南関東直下型地震が2036年までに70%の確率で発生すると想定されており、今後さらにDMATの需要が高くなってくることが予測されます。

今回、私たちは4日間の講義で2日間机上シミュレーションを含めた座学を受け、残りは実際に災害現場を想定した演習場での実践訓練を行いました。この研修では、座学や演習において常に「CSCA TTT」という頭文字がいかに災害時には必要かを学びました。まず、一つ目の「C」とはCommand&Controlで指揮と連携を意味し、各機関内(消防・警察・医療)での縦の指揮命令系統と各レベルでの関係各機関の横の繋がりが重要であるといわれています。次に「S」Safetyは自分自身の安全、現場の安全、生存者の安全を意味しています。2つ目の「C」Communicationは情報伝達であり、大規模事故や災害時対応に失敗する原因でもっとも多いのが情報の不備ともいわれています。「A」Assessmentは以上の情報伝達された内容をもとに評価し、現場に即した計画・実施を行っていきます。最後に災害時の医療支援「3T」として、Triageトリアージ、Treatment治療、Transport搬送です。この3Tにおいてトリアージとは、限られた人



当院 DMAT チームの精銳

的物質資源のなかで最大多数の傷病者に最善を尽くすことが重要でSTART法のトリアージ、PAT法のトリアージを机上シミュレーションと実践演習を含め繰り返し行いました。Treatment治療では現場でのABCDE(気道確保、呼吸、循環、体温)を安定化させ、次のTransport搬送に移す事を意味します。最後のTである搬送に関しては、自衛隊のヘリを使用し広域搬送を行うための模擬演習を行いました。この「CSCA

TTT」とは災害時医療対応の原則であり、常に念頭に置きながら被災地での活動を行っていかなければなりません。

研修の終了時には、筆記試験と実技試験を受け、5名全員が合格しました。当院では救急科の2人の医師は既にDMATに登録していますが、当院におけるチームとしてはこれが最初の編成となります。

最後に今後、嬉野医療センターは地域の中核病院として、またDMAT隊員としての活動を行っていくためには、現在の静穏期において、どれだけ災害を想定した訓練を行っているかが重要です。そのためには、私たち医療従事者が災害医療の知識と技術を高め、組織をあげて実際に即した参画型の訓練が必要となります。災害マニュアルを整備するだけでなく、訓練を行ながらのマニュアルの検証と修正を適宜行い、災害医療に対する組織化と救急体制の確立を目指していく事が今後の課題であると考えます。



「心のきずな学講座」地域との交流シリーズ①

嬉野市長 谷口太一郎氏講演

「健康保養都市嬉野を目指して」開催

教育担当師長 副島 みどり

嬉野医療センターでは、平成23年度より「心のきずな学講座」を開催しております。古賀院長の発案で、当院の基本理念「信頼と心のゆとり」を体現できる「人間性豊かな医療人」を育むことを目的として始まりました。23年度は、「国際交流」をテーマに、ケニアやマラウイで活動経験のある方を講師としてお招きし、現地での活動の様子など写真や映像を通して、見聞きすることができました。

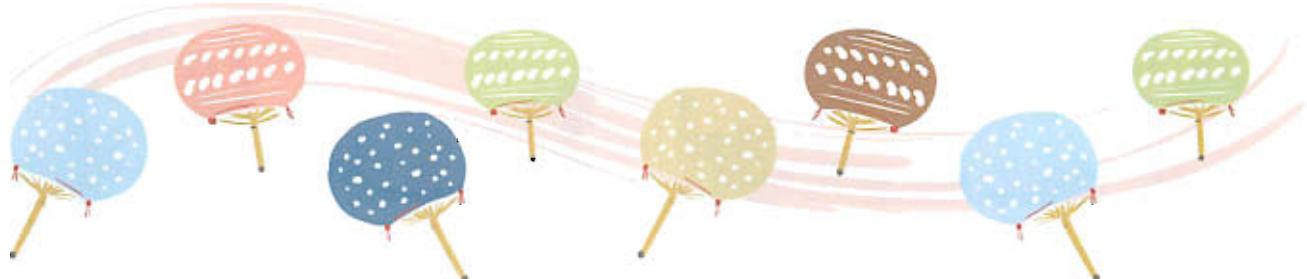
24年度のテーマは、「地域との交流」です。地域完結型の医療を目指す当院にとって、嬉野市や佐賀県のことを知ることは重要です。今年度第1回目は5月17日(木)に開催し、谷口太一郎 嬉野市長に『健康保養都市嬉野を目指して』という演題で講演をしていただきました。鳥栖－長崎間に建設が進んでいる九州新幹線西九州ルートの「嬉野温泉駅」誘致にまつわる歴史的な話、国立病院時代からの当院の歴史に関する話や今後の嬉野市が目指す方向についての講話を拝聴しました。職員の参加者は100名を超え、



講演終了後には、「市長から直接お話を聞く機会が持てて良かった」「市長のお人柄が伺えるお話であった」との声が聞かれるなど、非常に有意義な時間となりました。ご多忙な中、講演に出向いてくださいました谷口市長に改めて感謝申し上げます。

これからも、嬉野市とのきずなを更に強くし、地域医療支援病院としての使命をしっかりと果たすべく邁進していきたいと思います。

「心のきずな学講座」は、今年度あと3回開催する予定です。どうか楽しみにしていてください。





看護師就職説明会に参加して

西3病棟助産師 花田 裕子

平成25年度の看護師確保に向けて国立病院機構九州ブロック事務所が主催する看護師就職説明会が各県ごとで開催され、当院は5月12日の大分会場を皮切りに九州管内5か所(福岡、佐賀、長崎、大分、鹿児島)へ参加し、私は6月10日(日)に福岡市天神の「アクロス福岡」で開催された福岡会場を担当させていただきました。

午前中は全体のプレゼンテーションが行われました。そのためのDVDは、昨年度より当院が力を入れている“救命救急”をメインに作成され、また、病院の温かい雰囲気が出た内容となっており、説明会に参加した学生さん達に“嬉野医療センターの良さ”が存分に伝わったのではないかと思います。

午後からは、病院別にブースに分かれて個別説明を行いました。様々な県と学校から多くの学生さんたちが来てくれ、その中に、看護学校の2年生もいて、早い時期から説明会に参加していることに、とても感心しました。

当院の職員は、院長先生の似顔絵が書かれた黄色いTシャツを身にまとい、会場中の注目的になっていました。また、病院のマスコットキャラクターである“ヘリボーくん”や“ちゃこ”“ちゃたろう”的手作り人形も大人気で、「かわ

いい、ほしい」との声が多くの学生さんや他施設の職員さんから聞かれ、会場でキャラクターを使っての目を引く工夫が効果的であることを実感しました。

今年からパンフレットの変わりにiPadを使用し、多くの写真を取り入れ、病院の情報を身近に、分かりやすくアピール出来ていたのではないかと思います。iPadを使用していた施設は、参加施設の中で唯一当院だけでした。さらに、ポスターの中に新人さん達の写真を載せてあり、笑顔で写っている新人さんの姿を見て、1年後の自分たちの姿をイメージするきっかけになったのではないかと思います。

学生さんからは病棟の雰囲気、採用人数、教育体制、寮など様々な質問がありました。また、看護部の理念である“プラス1の看護”にも大きく傾き、共感する学生さんがたくさんいたように思います。しかし、県外の会場では、佐賀県出身の学生さんは、嬉野の土地も知っていて、説明も興味深く聞いていましたが、県外出身の学生さんたちは、嬉野がどこにあるのかも分からぬためか、就職する病院として身近に感じてもらうことが難しかったように思います。今後の課題として、興味持って聞いてもらうた



「他の病院には負けないぞ！」



フロアにてパンフレットの配布。



iPad を駆使して plus+1 の看護を説明。

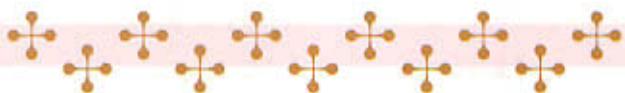


皆さん頑張っています。

めに、当院に就職している県外出身の職員に、“先輩からのメッセージ”を書いてもらってアピールすることで、県外出身の学生さんも安心して当院を選んでくれるのではないかと思います。

今回、初めて就職説明会に参加し、他施設のプレゼンテーションを聞き、また、学生さんと関わる中で、改めて嬉野医療センターの良さに気づき、私も当院に就職して良かったと思いました。また、看護師を育成するために、他職種の方達がたくさん関わっていることを知りました。私がここまで成長することが出来たのも、多くの人達の支えがあってこそであり、これからも感謝の気持ちを持って働いていこうと思いました。

平成 25 年度も温かい心を持った新人看護師さん達が就職してくれると嬉しいです。



嬉野紅茶とお茶飴を配るんです。



「温泉地にある急性期病院です。」



「ドクターヘリも飛んでくるんですよ。」



Artis zee TA (SIEMENS) 紹介

診療放射線技師 西 恒兵

2012年3月7日から、Angio装置のArtis zee TA (SIEMENS)が新しく稼動しました。主に循環器科、脳神経外科、放射線科が使用することになるので汎用的なタイプになります。

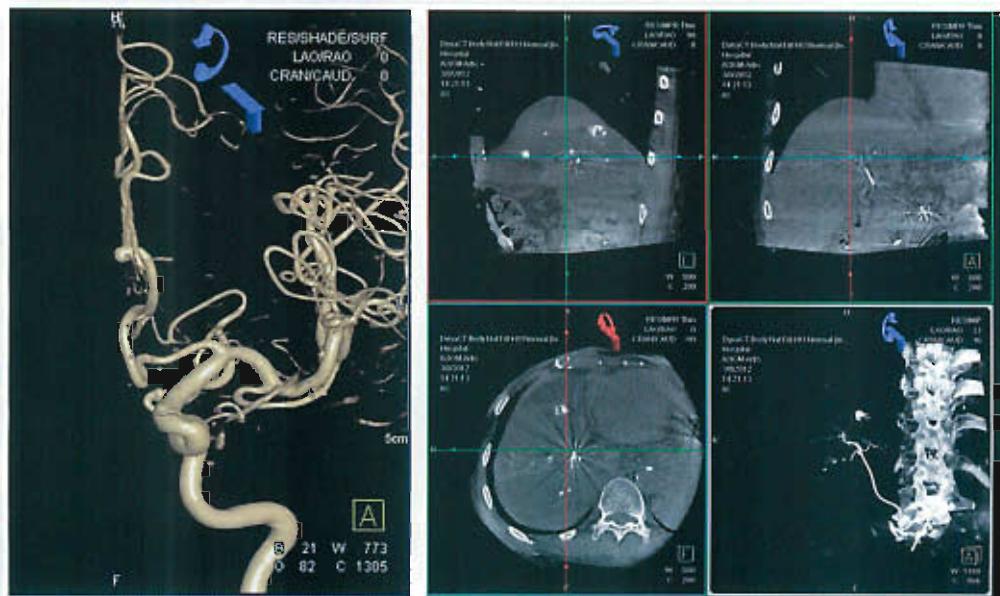
以前のAngio装置と比べて、FPDに変わったことや、SIEMENS独自の被ばく低減プログラム「CARE」(Combined Applications to Reduce Exposure)により、高精細な画像を提供するとともに、術者被ばくや患者被ばくの効率的な低減を行うことができるようになりました。

また、次世代3Dプラットフォームの搭載によって、さらにガイディングツールとしての可能性が拡がりました。Artis zeeではイメージングワークフローが簡略化され、3D画像が自動構築されることにより、操作性も向上しました。

今回導入されたアプリケーションについても紹介したいと思います。iPilot DynamicとDyna-CTです。iPilot Dynamicとは、リアルタイム追従型3次元ロードマップ機能で、Cアーム角度、拡大率、SIDを始め、テーブル位置、テーブル高等すべての術者操作に3Dマップ像がリアルタイムに追従し、3Dロードマップとしての利便性が向上します。主に脳外科領域で役に立ちます。Dyna-CTはCTライクイメージング機能のことです。Dyna-CTが導入されたことで、CT室、Angio室間の移動がなくなり、患者への負担も減りました。



Artis zee TA (SIEMENS) ▲





超音波診断装置の導入について

臨床検査技師 桂田 絵美菜



▲ 超音波診断装置 Aprio500

現在、佐賀県では、肝癌死亡率の全国1位が続いており、県内のウイルス性肝炎の持続感染者は、B型が約8000人、C型が約16000人と推計されています。しかし感染時期が明確ではないことや自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受ける機会がなく、本人が気づかないうちに肝硬変へ進行したり、肝癌が発生してしまう事があるため、早期発見・早期治療が大変重要となります。超音波検査では肝癌の検出だけでなく、肝の形態の微細な変化を知ることができ、血液検査やCTと合わせて、肝炎の状態を把握できます。

基本的には予約された患者様の検査を優先しますが、緊急は予約外でも出来るだけ対応したいと考えています。外来および入院の患者様の様々なオーダーに可能な限り応えていきたいと思いますので、気軽に放射線科エコー室のPHSに御相談ください。宜しくお願ひ致します。



栄養管理室からのお知らせ

主食 麺 の オーダー

栄養管理室長 佐藤 恒子



4月より化学療法などの治療で食欲不振・摂取不良患者様への対応として、朝食・昼食・夕食すべてに主食麺の対応が出来るようになりました。今まででは昼食のみ主食麺（ソーメン）の対応を行っていましたが、朝・夕食での麺の希望が最も多く十分な対応とは言えませんでした。今回は、回数を増やすことで飽きてしまうことも考え、麺の種類も増やしました。

主食麺をオーダー出来る食種は今までと同様の常食と軟菜食ですが、その他の食種での対応に関しては、栄養管理室へご相談下さい。

今後も、患者様が食欲低下時少しでも食事が入るよう工夫し、取り組んでいきたいと思います。

麺の提供は、下記の表のようにお出ししています。

	日	月	火	水	木	金	土
朝食	うどん	素麺	うどん	素麺	うどん	うどん	素麺
昼食	素麺	ラーメン	素麺	うどん	そば	素麺	うどん
夕食	そば	うどん	そば	ラーメン	素麺	ラーメン	そば





初めての見学実習を終えて

嬉野医療センター附属看護学校 1学年 山口 ひかり

4月に入学し、看護について学び始めて早くも約3ヶ月が経過しました。看護学校での専門的な学習は、初めて経験する事ばかりで戸惑いや大変な事もありますが、クラスメイトと共に日々充実した学校生活を送っています。

看護学生としてまだまだ未熟な中、今回初めて見学実習を体験しました。実習の目的は、「患者様の生活の場と看護実践の場を見学し、看護の機能と役割を学ぶ」事です。見学実習へ行くにあたり、病床の環境調整やコミュニケーションについて学習してきました。看護学生として病院へ足を運び入れるのは初めてで、十分な知識や技術がない中、患者さんと接する事が出来るか不安や緊張で一杯でした。

実際に初めて見学実習に行き、患者様と接し、看護師さんの働いている姿を間近に見る事で、講義だけでは得る事の出来ない多くの事を学ばせて頂きました。初めて見るすべてが新鮮で、とても深く興味・関心を持ちました。今回学生1人に受け持ち患者様1人を決めて頂き、コミュニケーションをとる機会がありました。患者様は初対面であるにもかかわらず快く受け入れて下さり、これまでの経緯についてお話を聞いて下さいました。しかし、思うような言葉が返せず、自分のコミュニケーション能力の乏しさをつくづく実感しました。それに対して、看護師さんは患者様の事をきちんと把握されていて、1人1人に合わせたコミュニケーションをとられていて圧倒されました。患者様との信頼関係を築き上げるには、看護師のこまやかな心からの気づかいや声かけが大切だという事が分かりました。

見学実習を体験し改めて、常に患者様の立場に立って考える事が出来る看護師になりたいと強く思いました。しかしそれには、患者様の思いをいかにして汲み取るかなど、数多くの課題があるという事が分かりました。目指す看護師像に近づくために、今後3年間の講義や実習、現在行っているリネン交換等の看護技術演習、また普段からの他者理解を大切にしたコミュニケーションを通して、一つ一つ身につけていきたいと思います。

今回は大変貴重な体験をさせて頂きました。見学実習を経験させて頂いた事、またご指導下さいました先生方、看護師さん、受け入れて下さった患者様に感謝し、これからも意欲を持って何事にも一生懸命に取り組んでいきたいと思います。有難うございました。

嬉野医療センター・外来診療担当医表

区分		月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	副島 佳文 澤井 豊光	中野 浩文	副島 佳文 行徳 宏	澤井 豊光	中野 浩文 行徳 宏
消化器内科	午前	北山 素 白石 良介(消化管) 磯田 広史(肝臓)	鍋田 誠司(消化管) 有尾 啓介(肝臓) 角川 淑子(消化管)	三根祥一郎(消化管) 北山 素 角川 淑子(肝臓)	鍋田 誠司(消化管) 白石 良介(消化管) 有尾 啓介(肝臓)	三根祥一郎(消化管) 白石 良介(消化管) 磯田 広史(肝臓)
循環器内科	午前	荒木 究 山元 美美	室屋 隆浩 三輪 高士	山元 美美	室屋隆浩(ベースメーカー) 山元 美美(第1・3) 荒木 究(第2・4)	荒木 究
心臓血管外科	午前		力武 一久 池田 和幸			力武 一久 池田 和幸
糖尿病内科	午前		田中 史子		田中 史子	河部庸次郎
リウマチ科	午前	河田庸次郎		荒武弘一朗	荒武弘一朗	田中 史子
神経内科	午前			溝田 貴光		溝田 貴光
腎臓内科	午前		中沢 将之(整形で診察)		中沢 将之(整形で診察)	
小児科	午前	小野 喬康	飯田 千晶	佐藤 忠司	西 泰津子	大串 栄彦
	午後	佐藤 忠句 小野 喬康 (診察 14時～16時)	乳児検診(完全予約制) (診察 14時～16時)	循環器外来 第1・3水曜 (診察 13時～16時)	小児腎臓外来 第2木曜 内分泌外来 第3木曜 小児アレルギー第4木曜 (診察 14時～16時)	西 泰津子
外科	午前	岡 忠之 (呼吸器外科・乳腺外科)	古川 克郎 (呼吸器外科・乳腺外科)	荒木 政人(消化器外科)	柴 信一(消化器外科) 久永 真(一般外科)	橋本 泰匡(一般外科)
	午後	岡忠之・古川克郎(乳腺外科) (診察 13時半～15時)				
整形外科	午前	川口 耕平 久秀 雄一 上野 雅也	小河 賢司 池田慎太郎 井上 拓馬	吉市 格 川口 耕平 池田慎太郎	小河 賢司 久秀 雄一 池田慎太郎	吉市 格 井上 拓馬 上野 雅也
脳神経外科	午前	前田 一史	宮園 正之		宮園 正之	
皮膚科	午前	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	大久保佑美(新患) 大仁田亞紀(再来)	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)	大仁田亞紀(新患) 大久保佑美(再来)
泌尿器科	午前	谷口 啓輔(再来) 林田 靖(新患)	谷口 啓輔(新患) 林田 靖(再来)		谷口 啓輔(新患) 林田 靖(再来)	谷口 啓輔(再来) 林田 靖(新患)
	午後	予約外来			予約外来	
婦人科	午前	阿部 修平	藤原惠美子		一瀬 優介	一瀬 優介
	午前	藤原惠美子	一瀬 優介	助産師外来(9時～16時) (完全予約制)	助産師外来(14時～16時) (完全予約制)	藤原惠美子 阿部 修平
産科	午後	助産師外来(14時～16時) (完全予約制)				
	午前	佐々木 満(予約制) 高橋 雄光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 雄光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 雄光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 雄光(予約制)	佐々木 満(予約制) 高橋 雄光(予約制)
眼科	午前	吉田 騰郎(再来) 前田耕太郎(新患)	吉田 騰郎(新患) 前田耕太郎(再来)		吉田 騰郎(新患) 前田耕太郎(再来)	吉田 騰郎(再来) 前田耕太郎(新患)
	午後			吉田 騰郎・前田耕太郎 (診察 13:00～16:00)		
放射線科	午前	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏
	午前	香月 亮 石川圭佐子	香月 亮 石川圭佐子			香月 亮 石川圭佐子
救急科 (8:30～17:15)	午前	藤原 神祐 山住 和之	藤原 神祐 山住 和之	藤原 神祐 山住 和之	藤原 神祐 山住 和之	藤原 神祐 山住 和之
	午後					

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようにお願い致します。
(当院の受付時間は午前8時30分～午前11時00分迄です。)

* 内科系 第2・第4木曜日はベースメーカー外来を行っています。
毎週木曜日の午後(13時～14時)は禁煙外来(保険診療外)を行っています。(予約受付 14時～16時) ★予約制

毎週月・金曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付 14時～16時)

毎週火曜日の午後は乳児健診(完全予約制) ■第1・3水曜日の午後は循環器外来(受付 13時～16時) ★予約制

毎月第3木曜日の午後は内分泌外来(受付 13時～16時まで) ★完全予約制

毎月第2木曜日の午後は小児腎臓外来(受付 14時～17時まで) ★予約制

外科 每週月曜日の午後は乳児外来を行ってあります。(受付時間 13時半～15時)

整形外科 ご紹介は整形外来宛でお願いします。

救急患者については救急窓口にて対応しております。

泌尿器科 每週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。

産婦人科 每週月・木曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付時間 13時30分～15時30分)

耳鼻咽喉科 每週火・木曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付時間 13時～16時)

麻酔科 每週第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。

歯科 ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合はこの限りではありません。

入院患者さんで歯科診療の必要が生じた時は町内歯科診療所へ往診の依頼を行って下さい。

2012.7.1

長かった梅雨が明けて、本格的な夏がやってきました。今年の梅雨は各地で記録的大雨が降り、甚大な被害が生じました。特に九州地方は“これまでに経験したことのないような大雨”との表現で警戒が呼びかけられましたが、阿蘇、竹田、柳川などで尊い人命が失われ、佐賀県内も平地を中心に浸水の被害に見舞われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被害に遭われた方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

さて、梅雨が明けたらその日から連日猛暑続きで、体力のない小生は既にバテバテ。九州電力からは昨年比10%以上の節電要請でクーラーの連続運転もままならず、夏バテ予防のウナギは高騰で食することができます。その上ロンドンオリンピックが始まり選手たちの熱い戦いでヒートアップし、更には甲子園の高校野球も始まろうとしています。

暑さと熱さのトリプルパンチが襲ってくる今年の夏ですが、熱中症を予防するために水分とミネラル分は十分に補給し、体調管理には万全を期してこの夏を乗り切りましょう。